



皆さんこんにちは！

地域おこし協力隊の渡辺です。

今月の集落支援だよりではコロナウイルスによる影響と小林隊員の卒業についてお届けします。



地域おこし協力隊 集落支援担当

渡辺 ^{たかひろ} 貴洋 隊員

春の訪れ

冬が終わり、だんだんと日足も伸びはじめ暖かくなってきました。春は卒業や入学、引っ越しといったように新しいスタートを切る人が多い季節です。

3月末で地域おこし協力隊・集落支援担当の小林拓也隊員が3年の任期を満了し、卒業しました。

そして、私自身は地域おこし協力隊の活動が2年目を迎えました。今年の4月からは奥川・中町集落にある集落支援拠点施設「結（Yui）」の管理人として生活しています。



昨年のかたくり鑑賞会の様子

奥川での新たな生活を楽しみつつ、宿泊場所をいつでもきれいに維持し、来た人が快適に過ごせる環境を目指していきます。

新型コロナウイルスの影響

世界各国で猛威を振るう新型コロナウイルスですが、その余波が西会津町にも押し寄せています。西会津町内の各種イベントが相次いで中止となるなど影響が出ています。

奥川・小屋集落のかたくり鑑賞会や、大学生と行う春の

人足体験ツアーの開催も中止を余儀なくされました。毎年のように継続して行われてきたイベントだからこそ集落の方々からも残念がる声がありました。

来年度は終息し、また昨年までと同様に開催できることを願っています。



小林隊員が卒業しました

地域おこし協力隊・集落支援担当の小林拓也隊員が3年の任期を終えました。小林隊員は、集落の共同作業である人足のイベント化を考え、大学生との継続的な交流に尽力してきました。福島大学の学生を中心に募集をかけたのをきっかけに、昨年度からは会津大学の学生も参加するなど参加する大学にも広がりが生

まれました。大学生の力を活用した活動は集落の皆さんにとっても楽しみの一つになっています。

また、参加する大学が増えたことよって、大学間の交流だけでなく、留学生も交えた多国籍な人足を行うことができている。話題性があり、新聞記事にも取り上げられました。

弥平四郎の集落の皆さんからご招待をいただき、集落内で送別会が開かれました。小林隊員が3年間の期間で築いてきた関係が見えた瞬間でもありました。



小林隊員と弥平四郎集落のみなさん